

観覧料＝一般1,500円、高大生1,000円、小中生600円

※大学生以下の方はご入館の際、学生証や生徒手帳等をご提示ください。※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名、および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者、および未就学児は観覧無料

■グッズ付前売りチケット(ローソンチケットにて各500枚限定発売)

手ぬぐいセット券:2,200円 | 湯のみセット券:2,000円 | チケットホルダーセット券:1,700円

■早割ペアチケット(ローソンチケットにて5,000組/10,000枚限定発売):2,000円 ※平日使用限定チケット2枚セット

■夜間割引:一般1,000円、高大生800円、小中生400円 ※7月の金・土曜日は17時30分以降の入場は特別料金で入場可能

■大濠テラスタイアップ割引:大濠テラス店舗のレシート(当日のみ)提示で観覧料200円割引

チケットはARTNEチケットオンライン(<https://artne.jp/pages/ticket>)、ローソンチケット(Lコード:82911)にて発売。会期中は会場当日券売り場でも購入できます。[平日のご来館のお客様]の日時指定は不要です。[土日祝日にご来館のお客様]は新型コロナウイルス感染症予防のため、ARTNEチケットオンライン、ローソンチケットによる日時指定チケット(事前予約)を推奨します。招待券や障がい者手帳などをお持ちの方も対象です。

チケットに関するお問い合わせ:西日本新聞イベントサービス TEL 092-711-5491(平日午前9時30分～午後5時30分)



詳しくは で検索

TAKAHATA ISAO
A LEGEND IN JAPANESE ANIMATION

高畑勲展

日本のアニメーションに遺したものの



©ZUNO 17年7月23日現在、イベント開催中。ホームページ: <http://www.hadai.m.jp>

2021年
4/29(木・祝)
7/18(日)

時間＝午前9時30分～午後5時30分(入館は閉館の30分前まで)

※7月の金・土曜日は午後8時まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日＝月曜日(ただし、5/3(月・祝)は開館、5/6(木)は休館)

主催＝福岡市美術館、西日本新聞社、FBS福岡放送

後援＝福岡県、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道、九州旅客鉄道

企画協力＝スタジオジブリ

協力＝(公財)徳間記念アニメーション文化財団、大濠テラス

制作協力＝NHKプロモーション

福岡市美術館

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL 092-714-6051 FAX 092-714-6071
<https://www.fukuoka-art-museum.jp/>

2021年
4/29(木・祝)
7/18(日)

TAKAHATA ISAO
A LEGEND IN JAPANESE ANIMATION

高畑勲展

日本のアニメーションに遺したものの



©2013 監修: 高畑勲、Studio Ghibli、NONHOMIX



「太陽の王子 ホルスの大冒険」は、
ぼくたちの青春の一時期の
すべてを注ぎ込んだともいえる
たいへんに思い出深い作品です。

「太陽の王子 ホルスの大冒険」(1968年)より ©東映

子どもの心を解放し、生き生きさせるような本格的なアニメシリーズを作るためには、
どうしなきゃいけないのかということを一生涯考えた。



「アルプスの少女ハイジ」(1974年)より ©ZUIYO



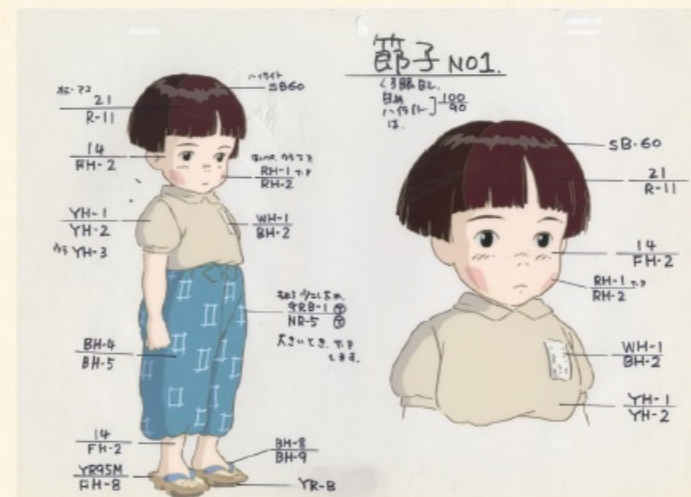
「赤毛のアン」(1979年)より ©NIPPON ANIMATION CO.,LTD. "Anne of Green Gables"™AGGLA



高畑勲(1935~2018)は、1960年代から半世紀にわたって日本のアニメーションを牽引し続けたアニメーション映画監督です。
長編初監督作品となった「太陽の王子ホルスの大冒険」(1968)で、大人の鑑賞にたえる壮大なスケールの映像世界を作り上げた高畑は、その後つぎつぎにアニメーションにおける新しい表現領域を開拓していきました。70年代には、「アルプスの少女ハイジ」(1974)や「赤毛のアン」(1979)などのテレビ名作シリーズで、日常生活を丹念に描写する演出手法を通して、ファンタジーとは一線を画した豊かな人間ドラマの形を完成させます。80年代以降は、物語の舞台を日本に移し、「じゃりン子チエ」(1981)、「火垂るの墓」(1988)、「平成狸合戦ぽんぽこ」(1994)など、日本の風土や庶民生活のリアリティーを表現するとともに、日本人の戦中・戦後の経験を現在から問い直すような力作を次々に発表します。遺作となった「かくや姫の物語」(2013)ではスケッチの線を生かした描法に挑み、従来のセル画様式を乗り越える表現上の革新を達成しました。

常に今日的なテーマを模索し、それにふさわしい新しい表現方法を追求した革新者・高畑の創造の軌跡は、戦後の日本のアニメーションの礎を築くとともに、国内外の制作者にも大きな影響を与えました。本展覧会では、高畑の演出術に注目し、制作ノートや絵コンテなどの未公開資料も紹介しながら、その豊穡な作品世界の秘密に迫ります。

日本人が日本のアニメーションを作る、とはどういうことか、
いつも考えていました。



「火垂るの墓」(1988年)より ©野坂昭如/新潮社,1988



「平成狸合戦ぽんぽこ」(1994年)より ©1994 畑事務所・Studio Ghibli・NH



「かくや姫の物語」(2013年)より ©2013 畑事務所・Studio Ghibli・NDHDMTK

描いてない部分があるとか、ラフなタッチのままとか。
そしてそれが、とりまおさず、見る人の心に
記憶を探ろう、想像しようという気持ち呼び覚ますんだと思うんです。
「かくや姫の物語」での線の途切れ・肥瘦、塗り残し、がたつきなどは、
そのために役立ったのではないのでしょうか。



「ホーホケキョとなりの山田くん」(1999年)より ©1999 いしいまいち・畑事務所・Studio Ghibli・NHD



〈関連イベント〉※参加無料、要観覧券(半券可)

■記念講演会
4月29日(木・祝) 14:00~15:30
「高畑勲の革新的アニメーション演出術」
講師：叶精二氏(映像研究家、亜細亜大学・女子美術大学講師)
会場：ミュージアムホール 定員180名(要事前申込)

■映画上映会
6月12日(土)
「柳川堀割物語」①10時~②14時~
福岡市総合図書館協力のもと、同館所蔵の16mmフィルムで上映します。
6月13日(日)
「かくや姫の物語」①10時~②14時~
会場：ミュージアムホール 定員180名(要事前申込)

関連イベントはイベントページ
(<https://takahata-ten.jp/event/>)より
お申し込みください。



新型コロナウイルス感染症等の影響により、
内容が変更・中止となる可能性があります。

〈ご来館の皆様へ〉
●新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら開館しております。
・次の症状がある方は入館をお控えください。
発熱、または風邪などの症状(咳、のどの痛み)などがある方、ご体調のすぐれない方
●マスク着用をお願いいたします。
●来館者多数の場合は、一時的に入場者数を制限する場合があります。

〈福岡市美術館へのアクセス〉
○地下鉄
〔空港線〕大濠公園駅(福岡市美術館口)下車、徒歩10分。
〔七隈線〕六本松駅下車、徒歩10分。
○西鉄バス
〔系統番号13・140〕で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分。
〔系統番号6・7・12・113・114・200~206・208〕で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分。
〔系統番号6-1〕で「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分。
○車
福岡都市高速「西公園ランプ」から5分。
福岡市美術館専用駐車場(有料:1時間/200円)
利用時間:午前9時~午後9時(開館日のみ)
※週末、祝日等は大変込み合います。公共の交通機関をご利用ください。

